

“五足の靴”の魅力と意義



“五足の靴”とは与謝野鉄幹・北原白秋・木下杢太郎・平野万里・吉井勇という、後年それぞれ文学家として有名になる5人のことです。

彼らがまだ若く血気盛んな明治40年の夏、九州の西部を中心にキリシタン史跡などを見て回りましたが、その紀行文を毎日交代で書いては新聞に掲載され、大評判となりました。後にその成果が5人のそれぞれの作品となって花開き、文壇にも大きな影響を与えました。

彼らはここ島原にも立ち寄ったのですが、予備知識の不足や風説・伝聞による誤解もあって、記述の中には島原人として納得できない箇所も見受けられます。

そこで、長年“五足の靴”を調査、研究してこられた天草の郷土史家で、“五足の靴”に関して本も執筆された鶴田文史先生をお招きし、詳しく解説していただくと思います。

入場は無料です。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

日 時 平成21年5月23日(土) 午後2時から

場 所 森岳公民館 2階大ホール

入場料 無 料

講 師 鶴田 文史 先生

(西海文化史研究所主宰)



彼らが訪れた湊新地

主 催 島原市民文化講座・島原図書館 郷土史を学ぼう会・

島原市教育委員会・島原文化連盟

お問い合わせ 島原市教委育委員会社会教育課 電話68-5473